

NO. 4 事業名 森林基幹道開設事業（国補）

箇所・地区名 きょうといわさきやま
京戸岩崎山 線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	森林基幹道開設事業 (国補)			箇所・地区名	京戸岩崎山線		所在地	笛吹市一宮町、甲州市勝沼町		事業主体	山梨県													
当	計画期間	H5 ~ H20		変更	—		⑤再評価時の評価状況〔継続〕																	
初	総事業費	1,234 百万円		総事業費	1,681 百万円		引き続き継続して実施し予定通り完成されたい。(H15再評価時)																	
(1) 事業の概要																								
<p>①事業目的及び効果 本路線は、笛吹市一宮町千米寺と甲州市勝沼町上岩崎を結ぶ連絡林道であり、京戸川流域と大口川流域の広範囲な森林を管理経営することを目的とした森林基幹道である。利用区域860haのうち、杉・ヒノキ・カラマツ等の人工林面積は670ha（人工林率78%）であり、県内でも人工林の割合が高い地域である。今後の森林資源の適正な管理及び、伐採・搬出コストの削減、作業効率の改善を図り、県土保全・保健休養などの公益的機能の向上に資する。</p> <p>②事業概要 森林基幹道 計画延長 15,100m 幅員 4.0m 利用区域面積 860ha 森林資源蓄積量 65,998m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度以前</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (m)</td> <td>13,773</td> <td>360</td> <td>967</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>1,242</td> <td>92</td> <td>347</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 なし。</p>								平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降	延長 (m)	13,773	360	967	事業費(百万円)	1,242	92	347	<p>(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕</p> <p>①地域・住民の意向状況 地元笛吹市長及び甲州市長より、地域森林整備及び林業経営上重要な役割を果たすものとして期待されており、早期開通の要望があがっている。 (H20.5.7 笛吹市長、H20.5.7 甲州市長から文書による意見聴取)</p> <p>②産業・経済情勢 なし。</p> <p>③国等の方針変更 なし。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画（平成17年3月） ・富士川上流地域森林計画（平成19年～平成28年度） ・県有林管理計画（平成18～27年度）</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>					
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																					
延長 (m)	13,773	360	967																					
事業費(百万円)	1,242	92	347																					
(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																								
<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 1.08 ・再々々評価時計画における事業全体B/C 1.15 <p>2,478,711 千円（効果額）÷ 2,157,820 千円（費用計）= 1.15 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値 1.00 以上</p>																								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 地形地質が悪い区間が続き、法面保護工等の増額による全体事業費の変更が必要となったため、平成14年度に全体計画を見直し、事業費を変更した。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり</p> <p>③進捗率</p> <p style="text-align: center;">(整備済計 14,133m / 全体 15,100m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H15*</th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>67</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>87</td> <td>93</td> <td>100</td> <td>経過年数/計画年数×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84</td> <td>86</td> <td>88</td> <td>89</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>実施済延長/計画延長×100 (H20は見込み)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*再々評価の実施年度</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 地形地質が悪く、計画どおりの整備が困難であったことに加え、事業用地を確保するに当たって一部地権者からの承諾が得られなかったため。</p>		H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法	計画	67	73	80	87	93	100	経過年数/計画年数×100	実績	84	86	88	89	91	94	実施済延長/計画延長×100 (H20は見込み)	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 平成19年度に地権者の同意が得られ、この区間の事業用地が確保できたことで、今年度から2工区による施工を行うことが可能となったため、計画期間を見直し事業の完了を図る。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 計画期間の見直し 現計画 平成5年～20年度 変更計画 平成5年～23年度</p>
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	算出方法																		
計画	67	73	80	87	93	100	経過年数/計画年数×100																		
実績	84	86	88	89	91	94	実施済延長/計画延長×100 (H20は見込み)																		
	<p>(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。</p> <p>(6) 評価項目 [代替案立案の可能性] 事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。</p> <p>(7) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他() 事業の進捗率は約94%となっており、森林の適正管理、地域の林業振興に必要な路線であるため、工程管理を徹底し、進捗率の向上及びコスト縮減に努めながら事業期間を3年延長し継続する。</p>																								

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景



整備済みの林道と沿線の造林状況

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



利用区域内の要間伐森林の状況



間伐後の状況